



しえん
SHIEN
No.48

2024 8/1

支縁



<http://kisokobe.sub.jp/>

神戸国際支縁機構(KISO)季刊誌

【発行人】 岩 村 義 雄 〈携帯 070-5045-7127〉
【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区狩口台5-1-101
Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939
E-mail:kiso@mbe.nifty.com
【石巻支所】 阿 部 とよ子
〒986-2121 宮城県石巻市渡波町3-5-37
【熊本支部】 大 島 健二郎
〒862-0939 熊本市東区長嶺南4-4-27
【千葉支部】 嶋 田 博 信
〒294-0234 千葉県館山市布良303
年4回 2月、5月、8月、11月
購読料 一部320円+送料80円(年ごめ 1,600円)



ザポリージャ・ドニプロダム攻撃 2024年7月22日
“The Kyiv Independent” 紙

【2022年】

- 3月4日 ウクライナに侵攻を開始したロシア軍が占拠。
ザポリージャ原子力発電所はロシアに占領された。
- 5月28日 神戸国際支縁機構、「カヨ子基金」第1次ウクライナ訪問。
- 8月 ロシアとウクライナの双方が相手側の砲撃を非難。
- 9月1日 国際原子力機関 (IAEA) の調査団が視察。
- 11日 唯一稼働していた6号機が運転停止。
- 10月5日 プーチン大統領が国有化する大統領令に署名。

【2023年】

- 6月6日 貯水池を冷却水の水源としていたロシア軍占拠下のカホウカ・ダムが決壊。
- 6月19日 第5次ウクライナ訪問。神戸国際支縁機構、「カヨ子基金」現地視察。ヴィシチェタラシフカ村。オレクサントル村長が歓迎。

【2024年】

- 6月29日 ザポリージャ攻撃。子ども2人を含む7人が死亡。子ども8人を含む31人が負傷。
- 7月8日 キーウ小児病院にミサイル、ウクライナ全土で41人死亡
- 7月10日 ヴラッド、ミトロファン司祭、ルスランなど多数から連絡。

在日ウクライナ人たちと神戸国際支縁機構の街頭集会 (5回目 2024年5月28日) や、マスコミ関係はホームページなどに掲載。

16世紀にウクライナコサックが軍事拠点を置いた。18世紀後半より実質的にロシア支配下。アレクサンドロフスク要塞を築いた。旧ソ連時代に水力・火力発電所を建設。鉄鋼業・自動車工業・化学工業が盛んになり、重業都市として発展。現在、ヨーロッパ最大の原子力発電所。旧称アレクサンドロフスク。ロシア語名ザポロジエ。住民の多くはロシア語だが、急速にウクライナ語に変わつつある。

2 父親がチェルノブイリ原発に勤務し、家族は被ばく。チェルノブイリの公式の死者数は31人のままだが、この数字の論争は続いている。何千人もの事故処理作業員が目に見えない放射線の致死量を受けた。ザポリージャに移転。ヴラッドは洗礼を受けてはいるものの、非宗教。大学卒業後、デザイン事務所に通務。母親は現在でも共産主義政権時代を懐かしむ。ヴラッド自身は明確な反ロシア。

3 Velykodarivka村。庭に囲まれたバンガローが立ち並ぶ田園地帯。約14キロ対岸にあるザポリージャ原子力発電所の原子炉6基と2基の冷却塔ががさずんで見える。3千人の村民の内、千人は村からいなくなった。オレクサントル村長(60歳)は村の収入源である魚が捕れなくなって嘆いていた。対岸のロシア軍の攻撃によって村のコミュニティホールも損壊していた。第5次ウクライナ報告より抜粋。

2024年2月24日、ロシアはウクライナ軍事侵攻以降、5回目のウクライナ訪問である2023年6月19日、首都キーウから深夜バスで7時間。ウクライナ南東部のザポリージャ州都ザポリージャ市で現地のヴラッドさんと合流。佐々木美和「カヨ子基金」代表と共に案内してもらいました。ご自宅の爆撃された窓はビニールで覆われていました。市街地に繰り出し、2023年の3月からのドローン爆撃被害の爪痕、生存の被害者たちから恐怖体験のヒアリング。続いて、原発から10キロ圏内にある対岸の漁師村ヴィシチェタラシフカへ。ロケット弾が放射性廃棄物貯蔵エリアを襲い、モニターは壊滅的な放射性降下物が発生する可能性のある深刻な危機を警告していました。

🍷 ヴラッドからのメール 🍷

こんにちは、ヨシオ。
あなたの祈りに感謝し、あなたのエネルギーに感心しています！私の最大の願いの1つは、若くなくなった後もエネルギーがたっぷりあることです。

「宇宙に感謝」と3日前書いたのは、宇宙ではなく、目に見えない優しい力のおかげだと思います。災害が起きないようにしてくれた、目に見えない優しい力のことです。

私が言及したロシアの戦争犯罪に関するリンクを記します。あなたの訪問中に、この水力発電所を訪れる時間がなかったと思います。

最近、気温が40℃に達し、電気はさらに悪化しています。



神戸国際支縁機構の訪問が現地の記事になる。
“UINNO NEWS” (July 10, 2023)

子ども、高齢者、病気の人々が苦しんでいます。私たちはロシアの無謀な戦争に反対し続けています。

あなたと美和さんも無理をしないように。
ヴラッド。 2024年7月19日

<https://kyivindependent.com/russia-launches-large-scale-missile-drone-attack-against-ukraine/>



『読売新聞』(2023年9月19日付)

**ヤマザキ**

世界のパン

ヤマザキ

Otsuka

株式会社 大塚製薬工場

〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151(代表)

MIYOSHI

ミヨシ石鹸株式会社

〒130-0021
東京都墨田区緑3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ

 **TAKENAKA**

竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1



日吉人新

2024年(令和6年)6月6日

走って代かき 復幸米田植え

なつめ保育園 泥まみれ作業に歓声



水田を走って代かき作業



もち米の苗を植える園児たち

相模原市緑区のなつめ保育園(相模原市緑区)の園児(4歳児)が、6月4日、相模原市緑区にある「復幸米田」で、代かき作業を行いました。園児たちは、水田を走り回り、泥まみれ作業に大はしゃぎでした。

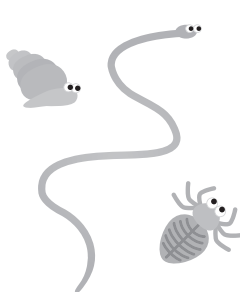
この「復幸米田」は、かつては水田でしたが、現在は宅地になっています。園児たちは、この田植えを通じて、自然の大切さや、地域とのつながりを学びました。

また、子どもたちは、水田で遊ぶだけでなく、稲の成長を観察したり、収穫体験をしたりすることもあります。

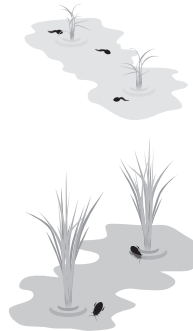
『人吉新聞』(2024年6月6日付)

日吉人新
2024年(令和6年)6月8日

『人吉新聞』(2024年6月8日付)



苗をていねいに植えていく作業です。昨年はじめて挑戦したにもかかわらず、器用に大人顔負けに苗を慈しみながらやさしく植えています。



巨大なミミズもつかんで遊ぶ園児たち。やはりDNAにはお百姓さんの遺伝子を受け継いでいるのでしょうか。都会の子どもだったら気味悪がってさわることもできないでしょう。

年長組(6歳)にとっては今年最後の稲栽培です。2020年7月4日、球磨川氾濫による50名の死者。約1,020ha、約6,100戸の泥の被害の時、未だ生まれていなかった子どもたちは元気に育ちました。トトロロ層づくりに何度も走りまわりました。

耕転機などを用いず、5、6歳の子どもたちでもコメがつけれます。足でトトロロ層づくりです。イトミミズが生息し、土を柔らかくします。うるち米(ヒノヒカリ)の太い茎に成長します。

海外からコメを輸入する必要があるかもしれません。農法にはお金をかけず、おいしい安全なお米をだれでもつくるようになる時代が到来してほしいものです。

球磨川(熊本豪雨)ボランティア

熊本支部長

大島健二郎

▼お米をもっと食べましょう

日本の「農」は20年後には4分の1になります。国は学校教育やメディアを通じて、大規模農場こそコストに見合う理想として目指すように誤導しています。これから30年は高価なトラクター、コンバイン、耕耘機に頼らず、だれでもできる無農薬、有機農法を都会の狭い場所などで拡がることを願っています。稲が元気に育つために田んぼの生き物の力が必要です。アジア、アフリカなどどこでも水深4〜8センチの「水田」には約5800種類の生き物がいます。川、池や湖より水温が高

いためミジンコ、ワムシやプランクトンが発生します。6月4日のトトロロ層づくり、続いて田植えです。水が少ないとフナ、モロコやギギが産卵できません。私たちはコウノトリが日本中に広がる夢を抱いています。そのためには、無農薬、有機以外に、エサであるドジョウが田んぼで育たないといけません。相良で、昨年は水深を増して、ジャンボタニシを防ぐことができました。

31年ぶり、
ゼロから翻訳した新しい聖書

『聖書 聖書協会共同訳』
—2018年12月発行—

全国書店にて
好評発売中です
www.bible.or.jp
日本聖書協会

湯川胃腸病院

胃腸科・小児科・泌尿科・皮膚科・眼科・耳鼻科・歯科・整形外科・放射線科・検査科・薬剤科・理学療法科・作業療法科・言語聴覚科・看護科・医療事務科

〒543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝2丁目10番2号
TEL:06-6771-4861 FAX:06-6771-4882

人によし、社会によし、未来によし。

ミヨシ油脂株式会社

〒124-8510 東京都葛飾区堀切4-66-1
<http://www.miyoshi-yushi.co.jp>

KINSAN

夢に近づき
夢を産み出す...

近畿産業信用組合

総合コールセンター
0120-111-019

田植え 宮城県石巻市渡波

代表 村上裕隆

▼園児たちが機械を一切使わず、トロトロ層づくり、田植えに挑戦
動画をご覧ください。

<https://youtu.be/7I9Lz3sVF8>

2024年5月21日、東日本震災以降、14回目の「復幸米」づくりに長浜幼稚園の園児たちが挑戦。「田・山・湾の復活」のひとつの歩みです。宮城県石巻市渡波で、2012年、万石浦幼稚園の故北川禮子園長が管理教育ではなく、野外でいきいきと子どもたちが育つように神戸国際支縁機構に委ねられました。無農薬、有機、機械を使わない江戸時代の農法です。子どもたちが大きくなった時、食糧難にあつて、自分たちで都会の空き地や、ペランダのプランター、屋上などでコメづくりができるようにという北川先生の願いが消えずに続いているのは幼稚園の教師たちの情熱によるものです。農薬や肥料を用いず、「保田ぼかし」という乳酸菌に相当する自然にやさしい取り組みです。



『石巻かほく新聞』（2024年5月23日付）



『杜鹿新聞』（2024年5月31日付）



園児たちの柔らかい足で何度も走り回り、「イトミミズ」の住みかをつくります。そうすると、生き物の力で、おいしい稲が育ちます。化学肥料、農薬、除草剤を一切用いない江戸時代の農法です。カエルの卵を発見して大喜び。準備してきたヒモについた赤い目印に合わせて、園児たちが「ヒトメボレ」を植えていきます。トロトロ層づくりによって、自分たちで自分たちが食べる稲を育てるので、やる気満々です。

『眞平家物語』五家荘の先祖（第十二回）

熊本県結方医院院長 緒方 俊一郎

盛任を継承したのは盛光で、以下の記事がある。

盛光 左兵衛尉ト称ス応永十五年三月球磨ノ領主我領地ヲ奪ハント謀リ数千人ノ兵卒ヲ遣シ熊鷹ヲ募ル然レトモ與ヘス其異心アラコトヲ疑ヒ一人モ残ラス追返ス同七月又來テ露ヲ賄ヒ猶熊鷹ヲ募ル露逸テ野ニ有リ射テ是ヲ取ル今云フ所ノ鶴ノ平是也事であるが、「応永15年（1408）5月に球磨の領主相良氏が五家荘の領地を奪おうとして兵卒を数千人送り込んだ。

名目上は熊（ツキノワグマ）の胆を求めたというが、相良氏の魂胆を見抜いたので、熊の胆を与えずに追い返した。すると7月に鶴を土産に再びやって来て、またも熊の胆と交換してほしいといった。しかしせっかくなのできた鶴は飛んで野原に逃げてしまったので、逃げた鶴を弓矢で射て獲った。その場所を現在も鶴ノ平と呼んでいる」と記録している。

このころになると、隠遁生活を送っていた一族たちは阿蘇氏や相良氏など五家荘の山中から外の世界との交流を行っていたことがうかがわれる。

なお、盛光の兄弟は女三人男一人で女兄弟の一人は甲斐宗立の正室となったという。

また男兄弟は盛臣といい、豊後の戦いで討ち死にしたとある

盛光の次は盛輔であり、右近ともいっていた。

右近ト云フ（虫付）二年球磨領主使ヲ以テ人吉ニ從ワシム 盛輔阿蘇ト盟ヒケルヲ以テ從ス人吉勢依テ乱防止ム時ナシ文安五年緒方兵衛尉盛安ト約東ヲ堅メ盛安ハ久連子ヨリ盛輔ハ椎原ヨリ挾テ球磨賊黨ヲ討シ頭埋坂（ツウダサカ）ニ戦ヒ皆是ヲ塵（ミナゴロシ）ニス 首級都合百五級之ヲ其坂ニ埋ム依テ今頭埋坂（ツウダサカ）ト云フ 享徳二年九月二十日没ス

盛輔の時代には人吉の相良氏が家来になれと迫ったが、阿蘇氏と同盟しその傘下に入っているために拒否した。人吉勢は五家荘に入ってきて乱暴狼藉を働いたので、文安5年に久連子の緒方兵衛尉盛安と同盟し、人吉勢を久連子と椎原から挟み撃ちにして皆殺しにした。そのとき100人を打ち取った。頭埋坂（ツウダサカ）と呼んでいる場所での戦いで、相手を全滅させ、その遺体を底に埋葬した。という。またその時の戦いで弟の盛景（八郎）15歳であったが参戦して傷を負い、死亡したと記録している。

享徳2年（1453年）9月亡くなった。人吉の相良氏との諍いが続いており、相良氏と阿蘇氏との勢力争いに巻き込まれていたことが記されている。



TAMANOHADA

代表取締役 三木 晴信

〒130-0021 東京都墨田区緑 3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp



Humanity First

「ヒューマンティファスト」
日本アハマディア・ムスリム協会

弁護士法人
芦屋西宮市民法律事務所



津久井 進

日弁連災害復興支援委員会委員長
兵庫県弁護士会前会長

TEL: 0798-68-3161

ミヨシ共栄株式会社

東京都墨田区緑3丁目8番12号

事務局便り

事務局長 佐々木美和

石川県珠洲市住民はどん底から這い上がれない

1.1 大震災から5ヵ月経た能登半島北端の珠洲市三崎町寺家の方々と6月17日も再会しました。7度目の訪問です。若狭幸子さん(85歳)は独居の在宅被災者です。トイレが復旧しておられません。私たちボランティアが1月以来持ち込んだ簡易トイレセットを使用しておられます。津波で流された納屋の跡にたべる野菜を作っておられます。上戸町の瀬戸靖子さんたちも浄化槽もなく嘆息しておられました。

珠洲市長橋町にある400年の伝統の塩づくりの製塩所「珠洲製塩」は道路寸断のため、4月も引き返さざるを得ませんでした。ようやく5月6日に、再開に励む社長の山岸順一さん(88歳)にお会いしました。山岸さんは、神戸国際支縁機構の珠洲地震報告3ヶ月分を10分かけて食い入るように読まれて、感想を述べられました。年齢を感じさせない理解力、分析力には驚きました。塩作りの前は学

校長をなさっていたと帰途、分かり、なるほどと思わせられました。先月と異なり、6月3日の余震の影響で道路は倒壊した家屋で停滞を余儀なくされました。メディア報道では報じられなかった惨状を見ました。国道249号の外浦の海岸線はまだつながっていません。従業員の真酒谷淳志さん(28歳)は今回も家族のようにもてなしてくださり、輪島に行く複雑な近道を教えてもらいました。津波、地震で家がつぶれ、雨がもる一室でしのいでおられます。30分以上、車で買い物に行かねばなりません。自給自足の生活です。壊れた家の跡に野菜を育て、漁師から魚を分けてもらいます。能登の方は人情味が深く、永住しなくなります。



自給自足なさっている若狭幸子さん
2024年6月17日

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

・郵便振替

口座 00900-8-58077

加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

・三菱UFJ銀行

462(三宮支店) 普通 3169863

神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には書ける方は『国名』を書き添えてください。

(一社) 神戸国際支縁機構

ボランティアや移住者募集中

農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。

被災地への支縁物資もお願いします。

年会費をお願いします。(月に200円)

会員(年度4月～翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

海外の孤児のために支縁金をお願いします。

「小さくされた人々のための福音」講座
毎月第3金曜日
午前10時～
神戸学生青年センター
本館1階

岩村義雄セミナー
毎月第4月曜日
午後6時半～
ミント神戸17階

編集後記

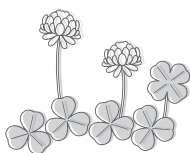
〈東北朝鮮初中級学校を訪問〉

1年経つと新入生は小学校2年生。はじめて会った時、重い米を教室に運んでくれました。

私本田寿久(63歳)も、再会を喜びました。少子化の時代の波、東北にも及んでいます。玄 唯哲 校長先生をはじめ教師たちも情熱をもって教えておられます。

理想的な学び舎です。

理事長 本田寿久



小学校2年生と 2024年7月9日

救援金、維持会費のご協力を感謝します。(敬称略)

2024年4月21日～7月13日

佐々木美和、岩村義雄、神戸新聞文化センター、大島健二郎(4)、日本バプテスト同盟西岡本キリスト教会、伊東鉄也、佐々木駿介、千葉幸一(宮城県石巻市)(4)、杣 浩二、廣森勝久&孝子、青木…、本田商会(3)、南俊治建築研究所、春名純人、堀内 稔、芦名定道、鄭 恵姫、神部隆三、竹内喜子、大田正紀、島田 徹、守屋香代子、李 政史、今井祝雄、湯川紘未、日野謙一(2)、森 一郎、河村ひとみ、(株)大塚製薬工場、河内常男、宮本博美、濱岡京子、金 貴順、社会福祉法人光朔会 山口 元、重元 勝(2)、廣瀬素子、上村由紀穂&恵子(熊本県人吉)、矢野寛子、左成和朗、泉 晴代、沖浦宏隆(千葉県布良)(2)、柳澤豊&香那子、野崎和子、忍ヶ丘キリスト教会、白瀬悦子、前川和弥&幸子(4)、三芳英教、善隣キリスト教会、有年米子、有田貞一&美榮子(3)、杉山精一、井本敦幸、伊藤直樹、伊藤ヨシ子(茨城県日光市)、別所正博(2)、藤原りつ子、佐藤紀子(宮城県多賀城)、タダシズコ、小笠原貞夫、山村ちずえ、光厳寺(宮城県石巻市)、後藤由美子、柴田珠江、佐々木ヒデトシ、秋田光彦(大蓮寺/應典院住職)、泉とも子、辻本久夫、谷合公江、阿部和夫&斉子(宮城県石巻市)、原 浩司、土手ゆき子、土手 朋、木村ふみ子(宮城県石巻市)、生活協同組合コープこうべ、蛭田聖書教会、森田 悦弘、野田健二(3)、清水孝紀、坂井純人、東灘バプテスト教会、大槻紀夫、山本陽子(3)、統一マダン、イエス・キリスト聖成伝道教会、山本 稔、大島 修、大島敏子、日本開拓伝道団京都教会、(株)竹中工務店、櫻井由里子(2)、緒方眞喜代(熊本県相良)、徳留由美、高島邦生、小島千鶴、田口秀明(千葉県館山 虚空山 勝蔵寺)、本田寿久、米澤澄子、嶋田博信&礼子(千葉県布良)、永野由美子、丹野恵子(宮城県石巻市)、日韓交流信徒大会西部地方会、匿名、

1,371,930 円

フードバンク関西、前川和弥&幸子から菓子、柳澤豊&香那子からクッキー、尾島淳義からシチュー、本田 巧&敏子(宮城県石巻市)から海苔、(株)チュチュアンナから靴下、大河戸章代から菓子、黒木征二(熊本県人吉)からワイン、小宮浩(熊本県人吉市)から前掛、藤本豊彦&サカエ(熊本県人吉)からラーメン、出村正廣(石川県珠洲市)からサザエ、野田健二から野菜、徳留由美から種々の菓子、佐藤金一郎&晴美(宮城県渡波)からオロナミンC、木村ふみ子(石巻市)から梅干し、工芸品、大島 修、大島敏子(岡山県倉敷市)から桃。